

学校だより
第7号
令和4年10月28日
美瑛町立美沢小学校
美瑛町字美沢中央

秋といえば・・・「読書」について

美瑛町立美沢小学校 校長 温泉 敏

秋はいろいろ言われます。今回は「読書」について少々書いていきます。

学校では、毎週水曜日に「朝の読書」を行っています。これは10年以上前から各学校で始まったように思います。この「朝の読書」の取組はそれ以前から行われており、船橋学園女子高等学校の実践が『朝の読書が奇跡を生んだ』（林 公著）と題した本で出版されています。

また、近年では読書を脳科学から分析した資料も出ています。私が教員になった頃は大阪で教師をしていらした岸本裕史著の『見える学力 見えない学力』の中で触れられていましたし、その後の岸本氏の出版物でも記されています。

かつて国語教育に尽力した教育者である芦田恵之助氏は『^よ読み方教授』（大正5年）の中で「読み方は自己を読むことである」と述べています。意味は「作者や登場人物の意識や考えと自己の意識、考えとを交錯させながら読み進めることを通して自己の世界を広げ深めて、新たな自己を発見すること」だと思えます。

学校の図書館にも、町の図書館にも「読んでほしいなあ」と思っている本がたくさんあります。

毎週、司書の方が蔵書の整理や修理、そして推薦図書をカウンターに設置するなど環境を整えてくれています。また、町の図書館からも学校図書館に貸し出ししていただいています。

一方、読書は趣味の範囲とも考えることができます。ですから、「読んでおもしろい、楽しい」本を読めばよいとも思っています。大人になれば、読書の好き嫌いに関係なく「読まなければならぬ」本があると思います。それは職場の研修かもしれませんし、仕事上身に付けなければならぬことかもしれません。しかし、いずれにしても「読書」から離れることはないと思います。

若い時は「読む時間はたくさんあるが、読みたい本は少ない」、年令を重ねると「読みたい本はたくさんあるが、読む時間が少ない」と感じはしないでしょうか。早い時期に読書の楽しさ（知る楽しさや想像の楽しさ等）を知ってほしいと思っています。ですから、10分間読書の継続が学校の内外であってほしいと思っています。

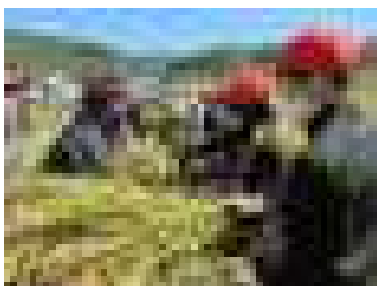
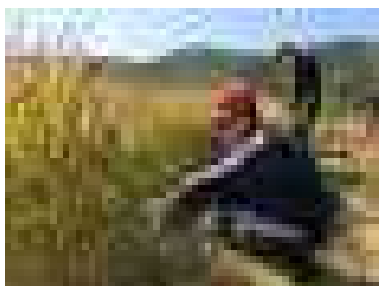
図書館（図書室）をどのような環境にするか、10年ほど前から言われるようになりました。簡単に言えば、「知の探究ができる場所」となる環境づくりです。また、どのような本を選ぶか、ということについてはもっと前から言われています。その道のプロとして赤木かん子さん（児童文学評論家）がいます。図書館に関する著作では多い方だと思います。その赤木さんは「中学生まで、本嫌いな子どもなんていない。」と話しています。今年度も司書の方の協力を得ながら様々な種類の本を購入しました。図書館の活用が今以上になるといいなあ、と思っています。

稿を閉じるにあたり、「芸術の秋」について。11月12日は本校の学芸会です。体育館を会場に16名の子どもたちが器楽演奏、劇と演じます。器楽演奏では子どもたちが自主練習を行っています。体育館では劇の練習が熱をおびつつあります。ただ残念なことは、今年度もコロナウイルス感染症対策のため地域の皆さんへの案内が難しいことです。ご理解をいただくとともに、何かの機会にでも子どもたちに声援をいただけたなら幸いです。

※『朝の読書が奇跡を生んだ』は正・続とあります。

あぐりスクール

9月26日に「あぐりスクール」がありました。前回この田んぼに来たのは田植えでした。今回は稲刈り体験です。



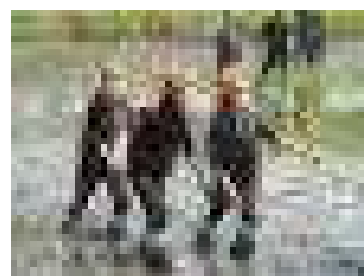
田植え、稲刈りの2つの活動ではありますが、体験することは大切なことだと思っています。私たちの口に入るまでに、どのような作業や流通等があるのか（人が関わるのか）を知ることはキャリア教育という意味でも必要だと思います。

話は少しそれますが、函館では今「ぶり」について知ってもらおうという取組があります（学校での活動ではありません）。ぶりをプールに放し、捕まえ、締めて梱包するまでを体験するプログラムです。最後は試食もします。

子どもたちが刈り取った稲は給食に使われます。このような活動ができるのは「美瑛」のよさでしょう。他の市町村でも田植えや稲刈りの活動はありますが、地域のJAが関わって取り組みを進めている町は少ないように思います。

ちなみに、田植えの時は右の写真のように青いビニールをまいて田んぼに入っていました（田植えを掲載していませんでした）。

給食で試食できる時を楽しみにしたいと思います。



《ふるさと学習》

美瑛町は「ふるさと学習」を推進しています。「ふるさと学習」は自分たちが生まれ育った美瑛町の歴史・文化・自然などについて学ぶことで、郷土への愛情や誇りに思う心を培うとともに、美瑛町の将来の担い手となる人材を育成することをねらいとしています。

この「ふるさと学習」やそれに類する内容は多くの地域が取り組んでいます。ただ、町全体として取り組んでいるのはそれほど多くないかもしれません。

小規模校ならではの多くの実践がいたるところで進められています。

今回の5年生はジオパークの方に講師となってもらい、美瑛の大地がどのようにできたかについての話を聞いたり、電子顕微鏡で岩石を見たりしました。



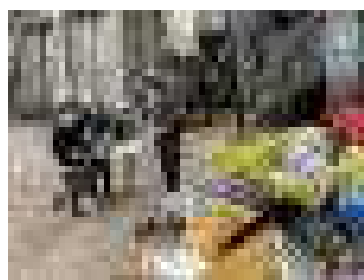
《社会見学》

社会見学も実際に現場に行き、見て、話を聞く大切な活動です。小学校3年生、4年生の社会科は地域学習が中心となります。3年生は自分の周りから町へ。4年生は町から北海道へ、と視点を広げていきます。今回の見学は3年生が「ふじスーパー」、4年生は「しらかば清掃センター」の見学でした。



設備の様子やごみの多さに驚きながら、担当の方からの話を一生懸命聞いてメモしていました。

様々なところを見ることができるのは少人数のよさでしょうね。

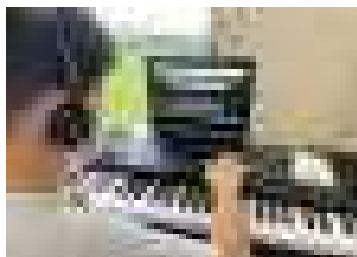


《美沢小の12人》

今回は、片倉彬貴先生です。理科が専門。

3、4年生の複式学級をもっています。どの学年もそうですが、クロムブックを活用した授業をいろいろ工夫しながら取り組んでいます。

片倉先生は、例えば音楽の授業で、個人練習にクロムブックを活用しています。

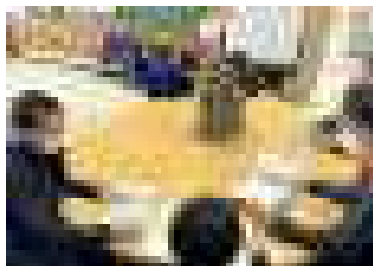


クロムブックに楽譜がでているわけではありません。この方法は聞いたこと

はありましたが、実際に授業での活用は初めて見ました。

また、なかなかの勉強家で最近取り上げられている学習方法にもチャレンジしています。

先日は、山形県で開催された全国へき地教育研究大会に参加し、研鑽を積んでいます。



その一方でスポーツマン。得意なのはバドミントンとテニス。中学時代のバドミントン部、高校のテニス部で鍛えられた脚力は運動会でご覧になった通りです。



11月の行事予定

日	曜	行事予定
1	火	全校朝会・親子読書月間（～28日）
2	水	委員会 ALT
3	木	文化の日
4	金	ALT
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	ALT
10	木	学芸会総練習
11	金	学芸会前日準備
12	土	学芸会
13	日	
14	月	振替休業日
15	火	学芸会后片付け
16	水	ALT
17	木	保育所来校日 職員会議
18	金	ALT 町教育研究大会（東小）午前授業
19	土	
20	日	
21	月	親子読書カード提出 佐治先生の講演（4年生）
22	火	交流学习（低学年）
23	水	勤労感謝の日
24	木	交流学习（中学年） 児童朝会
25	金	交流学习（高学年） ALT
26	土	
27	日	
28	月	地域参観日 収穫祭
29	火	作品展展示作業 研修日
30	水	町教研作品展 委員会 ALT

いじめの未然防止、早期発見・早期対応の取組のためには、市町村教育委員会や学校、家庭がともに、いじめに対する認識や理解を深め、いじめを正確に認知することが重要です。道教委から保護者向けのリーフレット「学校と家庭が協力した『いじめ対応』」がでています。次のURLや二次元バーコードで見ることができますので、おしらせいたします。

https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/fs/6/9/0/9/7/6/0/_/kyouryoku.pdf



学芸会に向けて

11月12日の学芸会に向けての練習が始まっています。おおよそ、2ヶ月前には練習をスタートさせます。「随分はや

いのでは？」と思われる方もいらっしゃるかと思いますが、個々で覚える（練習する）時間、読み合わせや演奏を合わせる時間、役を考える時間、体育館での練習する時間を考えるとそうなります。

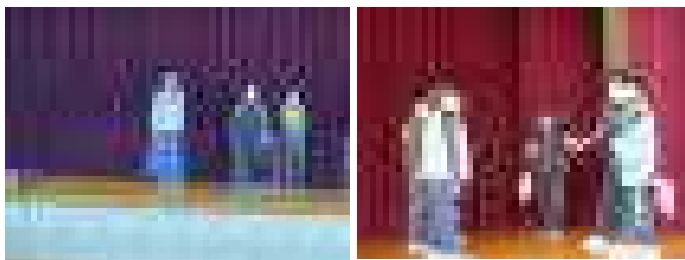
24日（月）から学芸会特別時間割に入り、一層練習に熱をおびていきます。この「たより」では、演目の一部を紹介します。

【劇編】

低学年の劇はウクライナ民話「てぶくろ」です。このお話が日本に紹介されたのは、1965年です。60年近く前に福音館書店から出版されました。今も人気のある絵本です。どのような演技をするのかとても楽しみです。

中学年の劇は「ピノキオ」です。こちらもみなさんよく知っているお話です。全編は難しいので、その中からいくつかの場面を、ちょっぴり変えながらの内容となります。どのように変わるかは見てのお楽しみとします。

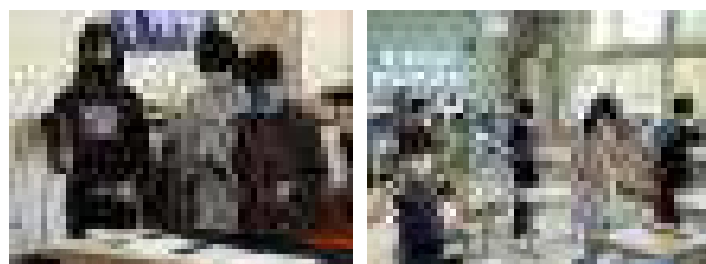
高学年の劇は「時をかける少年」です。高学年だけあって台本の読み合わせまでの時間はスムーズ。予定より早くステージでの練習に入りました。



【音楽編】

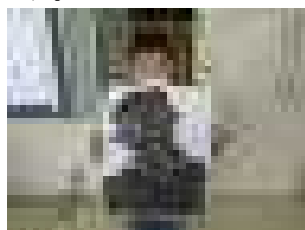
演目「美沢ミュージックステーション」では、初めて、トーンチャイムという楽器を使って全校で演奏にチャレンジします。（左写真：トーンチャイムの練習）

他にも、コロナ禍で合唱することはできませんが、低学年は鍵盤ハーモニカ、中学年はリコーダー、高学年は器楽で演奏を頑張っています。



【その他（校内作品展示）】

1階廊下とホールに版画や書写など、子どもたちの頑張った様子がわかる作品を掲示しています。



※地域の皆様にYouTube配信を検討しましたが、著作権の関係で配信できないことがわかりました。

《生活リズムチェックシート・

親子読書月間の取組》

学校評価で課題となっていた項目についての取組を11月に行います。今年度の重点目標4点（昨年度のアンケート結果から）は「自立（自律）」するうえで、とても大切なことです。お忙しいとは思いますが、よろしくお願いたします。詳しくは、それぞれの文書をお読みください。

